

組合関係の会議と催事

[2025年6月]

2日(月)

(輸出 /東京) 英国市場協議会による「2025年度理事会・通常総会(第53回)」が開催され事務局が監事として出席した。

10日(火)

(輸出入/東京) (1) ロジスティクス委員会の委員会活動として「成田空港貨物施設視察会」(輸出入合同)を(株)ANA Cargo およびインターナショナルエクスプレス(株)のご協力のもと実施した。視察先のANA Cargo 上屋「ANA cargo Base+」は、2024年10月に稼働を開始した最先端施設となっており、業界で初めて本格導入されたAGV(自動搬送車)や国内初の無人フォークリフトと自動高層ラックを組み合わせたオペレーションなどを見学した。分散していた上屋を集約し需要の高まるアジア北米間の三国間輸送の強化を図るとともにDXと最新設備の導入により労働者不足対策と効率性の高いオペレーションを実現していると説明があった。また、インターナショナルエクスプレスより、昨年11月から導入されたトラックドックマネジメントシステムや輸出航空貨物に対する爆発物検査の厳格化など、成田空港貨物の最新の輸出入オペレーションについてご説明いただき、意見交換・情報交換を行った。

(2) 駐日インド大使館主催「Roundtable on Textile」に神山上席研究員と森専務理事が出席した。会合では、インド繊維省貿易顧問が率いる訪日代表团(綿織物輸出促進協議会(TEXPROCIL)、化学繊維輸出促進協議会(MATEXIL)、アパレル輸出促進協議会(AEPC))と日本の繊維業界関係者との間で、日印間繊維ビジネスにおける協力や投資機会について議論が行われた。なお、同日午前中、経済産業省と同代表团は「日印産業協力パートナーシップの第三回繊維WG」を開催した。

12日(木)

(輸出入/東京) 日本通関業連合会主催、財務省関税局後援により本年度から実施される「EPA関税認定アドバイザー養成講座」において、同会からの講師派遣依頼を受け、川合ロジスティクス委員長が講師を務めた。同講座は、EPA関税に関する輸出入コンサル業務に必要な知識および教養を身に付けることを目的としており、財務省が特に中小企業のEPA利用を推進するための課題と対応策を検討する目的で

立ち上げた「EPA 利用推進有識者勉強会」における提言をうけて創設された講座となっている。

25 日（水）

（輸出入/大阪）一般財団法人日中経済貿易センターによる「2025 年度定時社員総会（会員総会）」が開催され事務局が出席した。

27 日（金）

（輸出入/東京）(1)一般財団法人メンケン品質検査協会による「評議委員会」が開催され、事務局が評議員として出席した。